

再生ネットワークを活用した 再生支援の取組みについて

飾らない銀行



平成21年1月14日



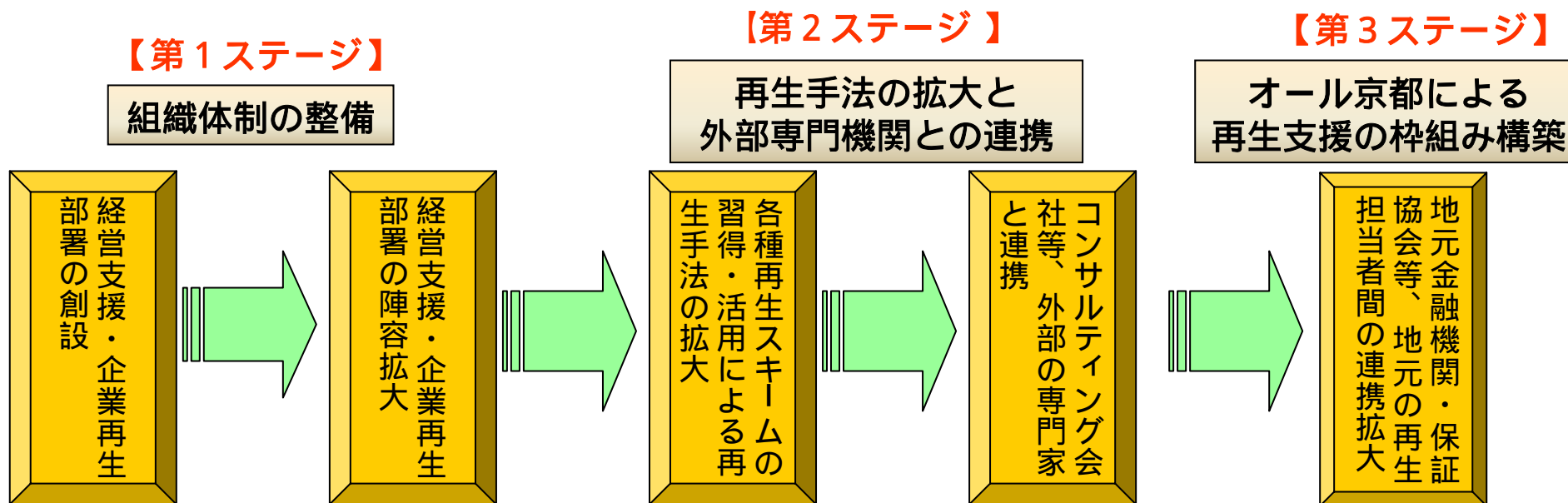
目次

1．当行の経営支援・企業再生の取組み体制	・・・ 3
2．経営支援・企業再生の活動フロー	・・・ 5
3．個別経営相談会	・・・ 6
4．経営改善計画書の策定支援	・・・ 7
5．流動資産担保融資保証制度（A B L）を活用した事例	・・・ 8
6．きょうと企業再生支援ファンドを活用した事例	・・・ 9
7．中小企業再生支援融資制度を活用した事例	・・・ 10
8．地域における再生支援ネットワークの構築	・・・ 11
9．京都再生ネットワーク会議	・・・ 12

経営支援・企業再生の目的

- お取引先の大半を占める中小企業の経営健全化への支援を通じた地域社会への貢献
- お取引先と一体となった経営改善への取り組みによるリレーションシップの強化
- お取引先の財務内容健全化、業績向上に伴う取引の拡大

経営支援・企業再生の取り組みの変遷



組織体制

- 平成14年2月、審査部内に「企業経営支援担当」として3名で立ち上げ
- 平成15年7月、「企業経営支援担当」から「経営支援室」に昇格
- 平成20年12月末現在、室長1名・審査役4名の計5名体制

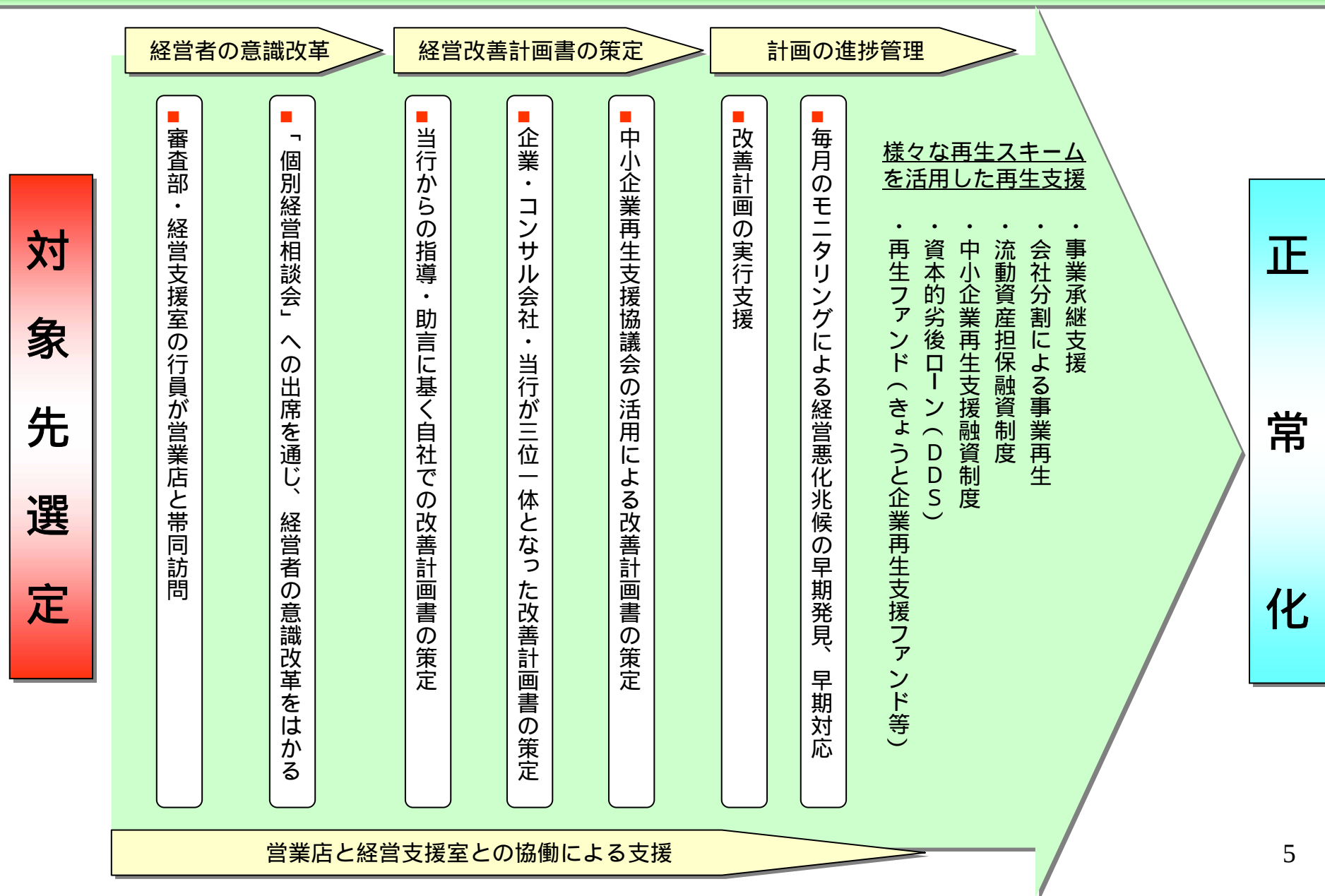
経営支援対象先

- 信用格付を基準に一定額以上の貸出残高を有し、且つ早期経営改善の必要な取引先企業

169企業グループ・363先（平成20年9月末現在）

正常先	16先
要注意先	217先
要管理先	84先
破綻懸念先以下	46先
合計	363先

2. 経営支援・企業再生の活動フロー



3 . 個別経営相談会

コンサルティング会社との共催により毎月開催
経営者の自社の現状認識と意識改革、経営改善計画書の策定指導等を目的に開催

平成19年度実績 19先
平成20年度実績 23先 (平成20年9月末現在 累計197先)

対象業種、開催地域を拡大して実施

- 病院等、医療業種に特化した経営相談会を開催
- 顧客の利便性を考慮し、京都府北部の営業店を会場にして開催

【お客様の声】

ズバリ経営実態と課題をご指摘頂き、
経営再構築への具体的なポイントを
アドバイス頂いたことは、大変有益
な機会であったと思います。



【コンサルティング会社との契約実績】

累計 43 先 (平成 20 年 9 月末現在)

平成 19 年度導入実績 2 先

平成 20 年度導入実績 2 先

経営全般にわたる抜本的な経営改善が必要な取引先については、提携コンサルティング会社と協働し、経営改善計画書を策定。取引先企業・当行・コンサルティング会社の三位一体での取組みを推進

【中小企業再生支援協議会の活用実績】

累計 25 先 (平成 20 年 9 月末現在)

平成 19 年度導入実績 3 先

平成 20 年度導入実績 4 先

公的な立場から、計画の策定支援、金融機関調整等を実施

【金曜相談室の活用実績 (平成 19 年 7 月スタート)】

累計 120 先 / 67 カ店 (平成 20 年 9 月末現在)

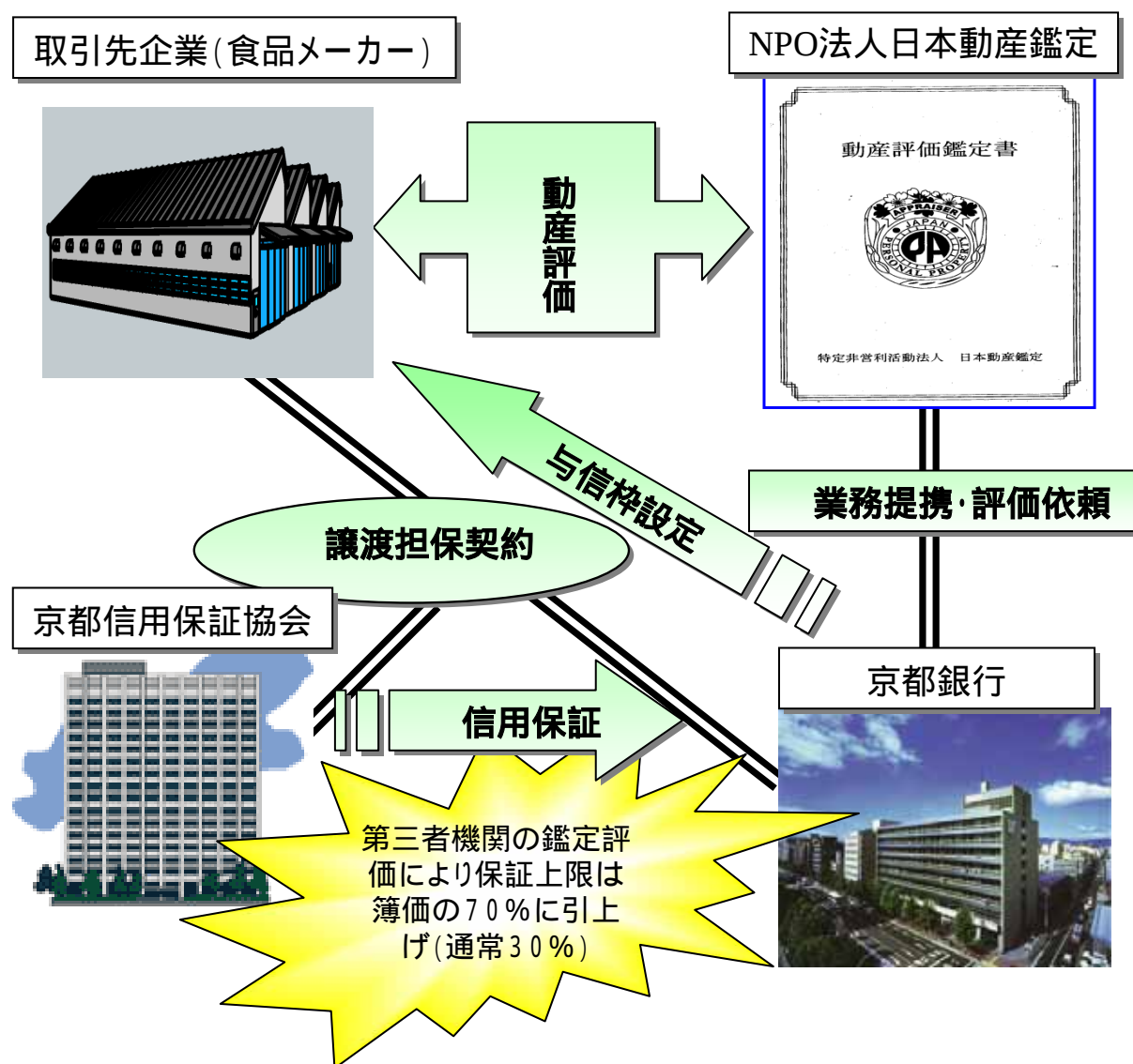
平成 19 年度実績 60 先 / 34 カ店

平成 20 年度実績 60 先 / 33 カ店

営業店が取引先企業に対し、改善計画書の策定について、指導・助言する際のポイント・改善の方向性等についてすり合わせを行う場として「金曜相談室」を設置

5．流動資産担保融資保証制度（A B L）を活用した事例

再生企業の資金調達手段の多様化に応じたA B L制度を活用した支援



取引先企業は、当行を通じてNPO法人日本動産鑑定協会に、保有する棚卸資産(食品等)の評価を依頼

NPO法人日本動産鑑定は、鑑定を行い取引先企業ならびに当行へ評価結果を通知

取引先企業は、在庫の評価結果を基に当行へ融資を依頼
当行は、評価結果を基に京都信用保証協会へ保証を依頼

当行は、京都信用保証協会の信用保証に基づき融資枠を設定すると共に、三者間で棚卸資産に対する譲渡担保契約を締結

6. きょうと企業再生支援ファンドを活用した事例

地域産業における中核企業の再生に取り組むことにより、
地域経済全体の活性化をはかる

再生後

再生ファンドからのイグジット

再生ファンドへ債権譲渡

再生前

企業再生に向けた取組み

- ・コンサルティング会社を導入し、再生計画書を策定
- ・銀行が債権を時価で再生ファンドへ売却
- ・経営責任の履行
- ・毎月のモニタリングとあわせ、企業、コンサルティング会社、銀行の三者による業績報告会を定期的開催
- ・再生計画に基づく経営改善に向けた支援の実施



債権譲渡

再生ファンド



地域産業の中核企業

会社分割

新会社

イグジット資金支援

- ・経営陣の意識改革、事業の再構築により、業績は改善計画を上回って推移
- ・債務負担の軽減により、資金繰りが安定

- ・過去の設備投資負担が重荷
- ・実質的に大幅債務超過
- ・一定のキャッシュフローは確保

旧会社

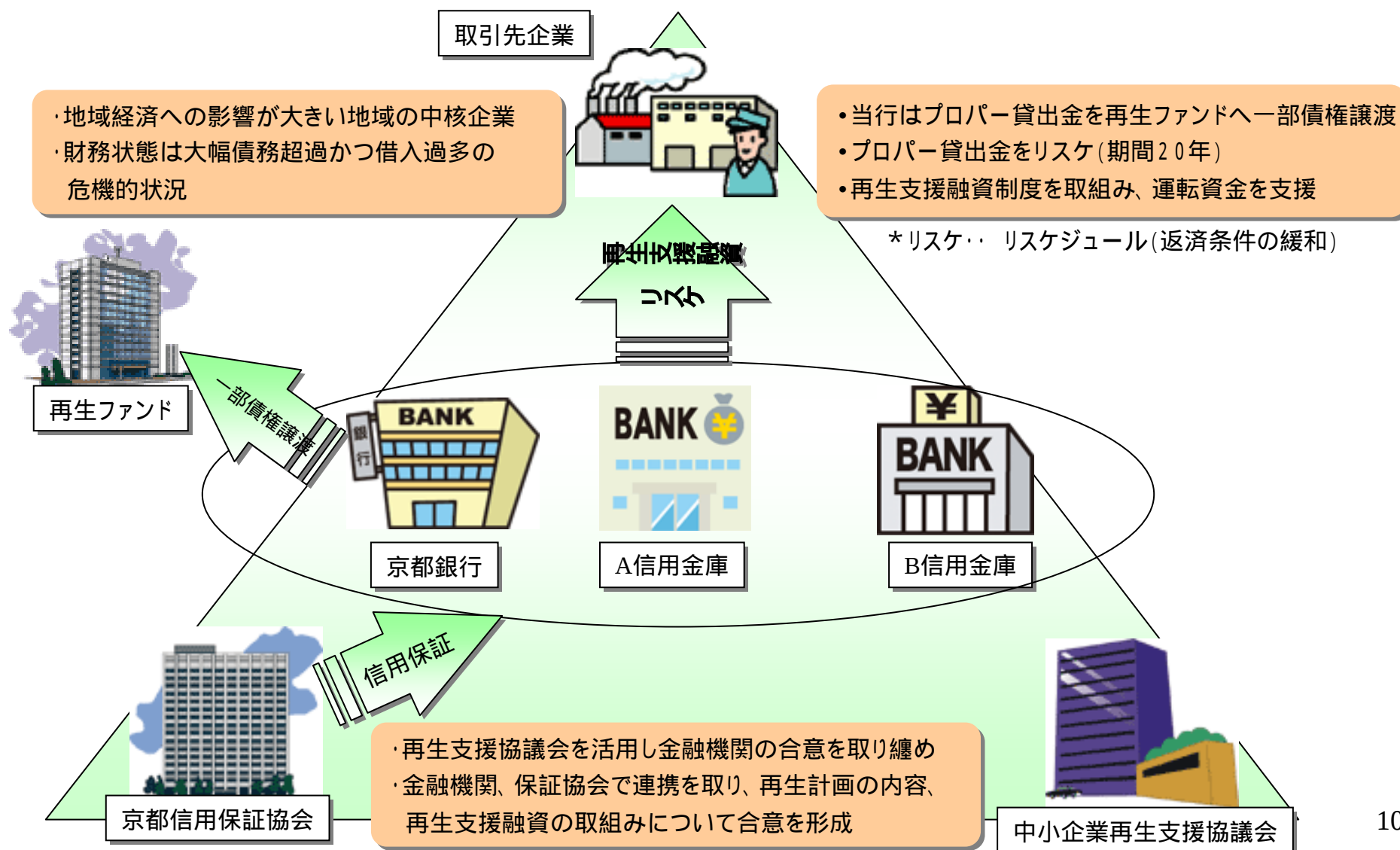
債務免除を受け
た後、特別清算

債権を
一部返済

再生ファンド

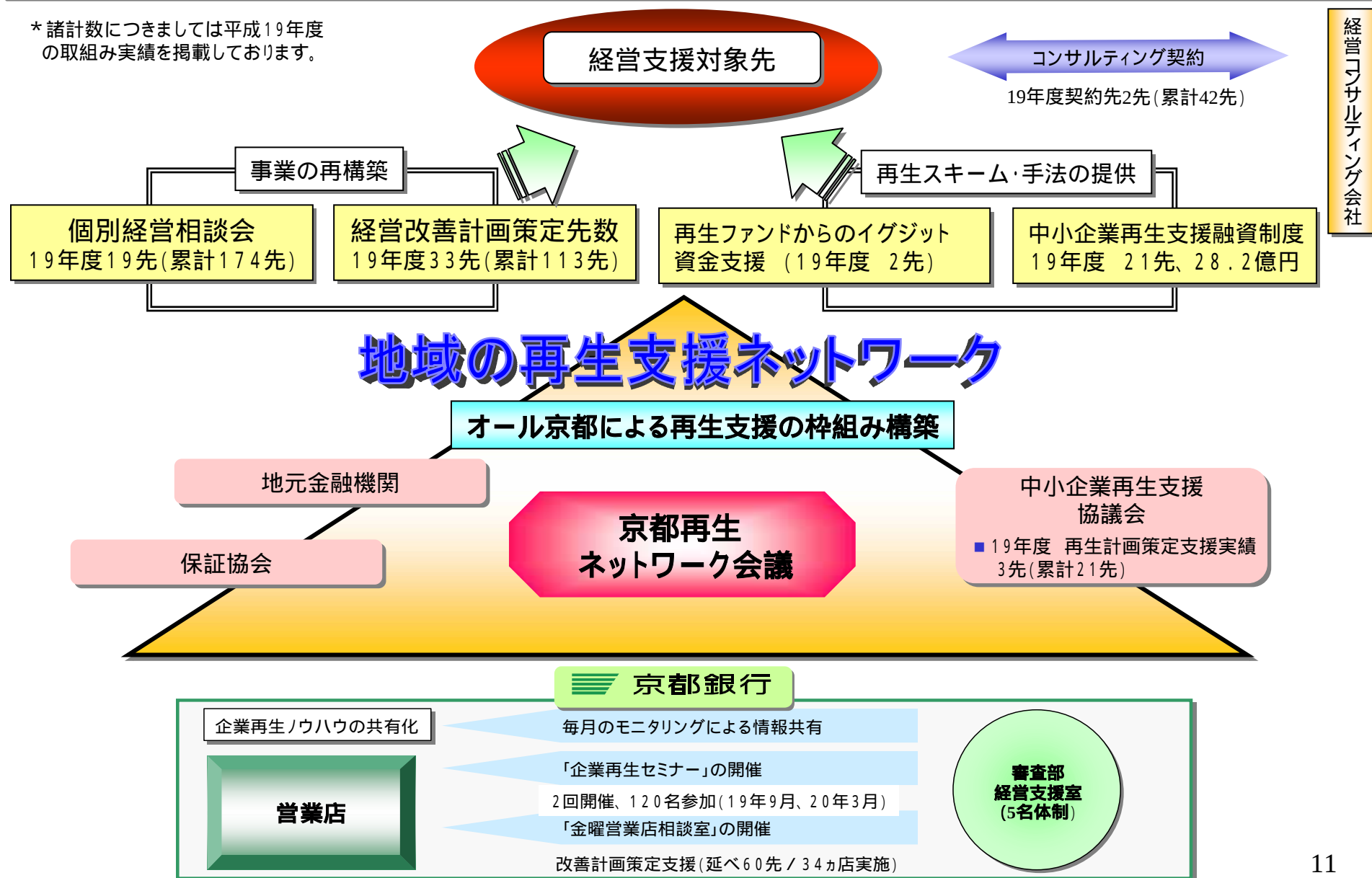


再生支援融資制度の取組みにおける再生ネットワークの活用事例



8. 地域における再生支援ネットワークの構築

* 諸計数につきましては平成19年度の
取組み実績を掲載しております。



京都再生ネットワーク会議とは

- ・地元京都で再生業務に携わる金融機関、信用保証協会、再生支援協議会、行政等の担当者が一堂に会する会議

会議の目的

- ・再生事例に関する情報交換を通じたノウハウの共有化、勉強会の開催等による再生知識・ノウハウの習得
- ・地元における再生担当者間の連携強化を通じた協調支援体制の構築

会議の効果

- ・再生担当者間の連携が図れているため、スムーズな金融機関調整が可能となり、取引先企業の再生に向けた取組みがスピードアップされた

会議メンバー

- | | |
|----------|--|
| (事務局) | 京都信用保証協会 |
| (メンバー) | 京都府中小企業再生支援協議会・京都銀行・京都中央信用金庫・
京都信用金庫・京都北都信用金庫・滋賀銀行・南都銀行・商工中金・
日本政策金融公庫・R C C・京都市中小企業支援センター |
| (オブザーバー) | 京都府商工労働観光部・京都市産業観光局商工部 |